



■ ぶらっと訪問記

報告：

コマンダー金澤

神無月と霜月の境界線を跨ぎ全日本ベンチプレス大会が岐阜県美濃加茂市で開催された。
その余韻に浸っているものの、この夏頃からあった雑感などを書き忘れてたんで、今年下半期の雑感として書いていこうと思う。

○ぶらっと岡崎の最終章

POWER LINE、ちからこぶを取材した夜は、名古屋鉄道東岡崎駅前のホテルに泊まり、翌朝朝食を摂った直後に、DENSOの二宮正晴さんに連絡をした。二宮さんの休日も朝は早いのか？既に蒲郡トレーニングセンターにて合同トレーニングの最中だったらしい。

二宮さん 「金澤くん、昨日岡崎に来てたの？何も用事無かったらこっちにもおいでよ」

金澤 「今、セントラルです」

二宮さん 「蒲郡の場所解る？」

金澤 「はい、ラグナシアと競艇場であれば・・・」

二宮さん 「じゃ、蒲郡の駅まで来たら連絡して」

10年前に碧南市でアマチュア無線の全国ミーティングがあって以来の三河地区への訪問。めっちゃ懐かしい。

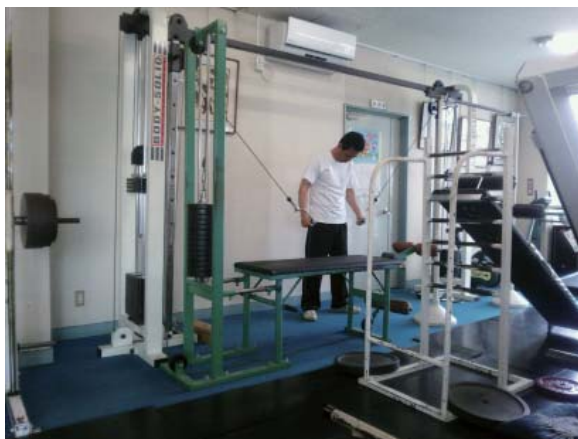
蒲郡トレーニングセンターは、蒲郡駅前の一等地に伊藤会長の自社ビルの2階にある。この日は三重県内で東海ベンチプレスが開催された関係で合同練習の出席者が数名。

僅かな日曜の午前の際間を使いトレーニングに励む一見古い型のマシンに見えるが、整備が行き届いて動きやすい。

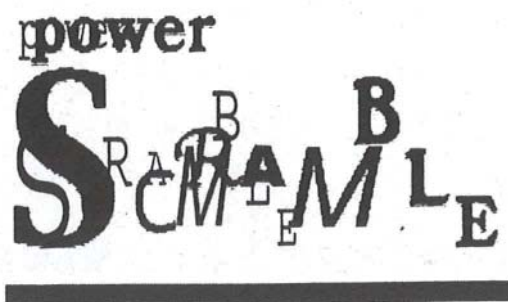
リラックスモードとして、マッスル&フィットネスと水木しげるさんの漫画が並んでるところは伊藤会長のお計らい。

ジムに到着したら、二宮さんがメンバーさんに自分を紹介して下さった。こちらが到着した頃はトレーニングも終盤だった様で、少しだけ待ってジムを後にした。

実は、岡崎から蒲郡まで足を運んだ理由の1つとして、長月開催のスポーツマスターズについて二宮さんに相談が



蒲郡トレーニングセンター



マッスル&フィットネスと水木しげるさんの漫画が並んでいる

あったからだ。

場所は蒲郡競艇場の前にあるステーキハウスに変わる。

ブロンコピリーという名前の店で、この時点では関西

には滋賀県にしか店舗はなかったんで、自分が知らないのも当然であるが、炭火焼きステーキハウスも珍しく、ここはお供をさせて頂き運営についてアドバイスを沢山頂いた。

全国大会に従事されてる数は自分よりも遥かに多いんで、アドバイスは非常に強い味方になったことは言うまでもない。

○スポーツマスターズ 2015 いしかわ

昨春の石川県協会理事会で開催を受ける意志がないことを J.P.A. に伝えた。4 年前にやったばかりで全国順番に回るものを、何でもまたやるんや？という思い。北陸新幹線の開通に伴い、経済効果を見込んで知事が強引に誘致したことで、他のスポーツ団体からも非難の声があった。

J.P.A. の方からもバックアップを更に強力にしてくれることで何とか開催を受諾。今年に入り、自分は協会非常勤理事としても、みんなにあ〜だこ〜だと必要なことを言いまくっていたが、石川県協会がパワー 3 種目の全国大会を主管運営するのは初めてであるから、みんなは不安だったと思う。

今大会は、スタッフの負担を如何に軽減させるかなどが大きな目的で、以下の点を強調した。場内での注意事項として開会式で説明した。

ゴミ袋の設置をしない

選手自身が出したゴミは選手自身に持ち帰って貰う。一見当たり前の話しであるが、とにかく会場はゴミが散乱してるところが多かった。そんなものにス

タッフに従事させる訳にはいかない。余談であるが、和歌山プレ国体の時は近畿ブロック長の仲さんがゴミを集めておられた。ゴミ袋の設置をやめたおかげで、殆どゴミは出なかった。

開会式の時間厳守

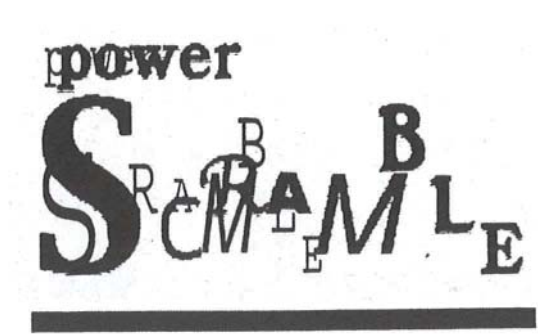
昨年の全日本ベンチプレス、今年和歌山プレ国体と纏まりの無い開会式を目の当たりにしたので、せめてここではきちんとやろうやってことで、開始時間をプログラムに発表してとおりに始めることを試みた。

しかし、予想通りで選手の全体ではないが開会式を軽く考えてはる方が多く、何度促してもウォーミングアップを止めない。こちらもブチ切れになってると くに J.P.A. 中村副会長がアップ場に走り、選手を整列させるという情けない始末。ブロックごとと並んで時間通りには始まったが、何でもこの競技はいつもこんななんのか？理解に苦しんだ。

選手の呼び出しを割愛

賛否両論があったが、検量に来てない或いは記録カードの記入漏れなどについて、いちいち呼び出してたらキリがないのと時間厳守で動かないのは選手に責任があるので、選手に責任をとってもらった次第。

営業とかで待ち合わせに遅れるだけで、契約が出来ずに一生話しも聞いて貰えないなどの例も社会では幾つもある。



る。今回は自分が用意したワイアレスマイクとメインアリーナで使われてるものと周波数が被り、お互いに周波数の変更と混信がないかなどのチェックでも時間が奪われたこともあったので、呼び出しなんかをしてる暇は10秒もなかった。

阿南技術委員長には、自分専用のトークバックに使うものをお渡しして使って頂いてた。

1分間ルールの徹底

和歌山プレ国体の場で、自身の試技終了後1分以内に次の重量を申請するルールを知らず？逆手にとって、きちんと計測してるのかと喰ってかかってきた選手がいた。残念ながら。このルールを徹底させんと、また揉める元やということで開会式で阿南技術委員長にきちんと説明して頂いた。

本部席では計測係を2名従事して頂き、選手の1人が1分を超えてから申請に来て抗議をしてたが、一切妥協はしなかった。

しかし、このルールの徹底のおかげで重量申請の平均時間は25秒であった。1ヶ月半後の全日本ベンチプレス美濃加茂でも、功を奏して申請は自分も含めてみんな早かった。

○法人賛助会員ザオバ様の全面協力

ザオバ様のシャフト、プレートなどが完全に公認になりフルセットでの利用は今大会が初めてになった。

大会前日の設置にも我々よりも早く千葉からお越しになり、セッティングもお手伝い頂いた。労力が大幅にカットされたので楽に終わった。



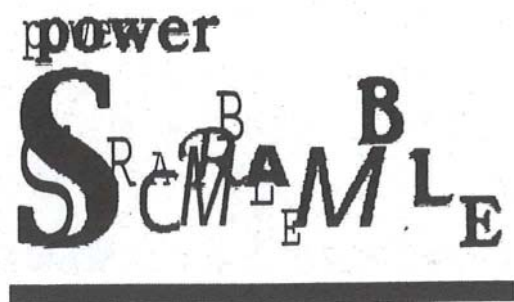
全日本ベンチ会場の入り口



プラットフォームが出来上がった頃、仕上がりというか見栄えを良くする為に「専門家」が意見を出す。先ずは橋爪理事(選手兼任)が真っ赤な絨毯を綺麗にカットイングされ、古ぼけたプラットフォームが生き返った。

蟹江秀信さんのスクワット(ご本人から写真を頂きました)を御覧下さい。ラックがズレることが無い様にアングルを打ち付けてある。これは田中理事のアイディア。絨毯のカットイングも寸分の狂いが無く出来るのも橋爪理事のウデの見せ所だった。

進行は予想以上に上手く進み、ほぼ予定通りに終わった。P.A.は自分が全部やりましたが、音源はマスターズでも結構高齢の方も沢山おられたんで、THE BEATLES



や VENTURES などの大御所の曲を集めて出してみたら結構好評でした。

富山県協会、福井県協会の強力な応援のもとで大会は無事に終わった。石川県協会スタッフも今までピンとこなかった全国大会の開催で一致団結が出来、開催を終えたという過去形で秋田県協会へバトンタッチが出来た。

全国大会に何度も従事してて、苦しいことが多かったんで出来るだけみんなには理不尽な思いをして欲しく無かった。閉会式が終わった直後に感極まり心の汗が大量に溢れ

てしまった。

課題はあるけど、北陸に全国大会が回って来たら、この達成感で迎えようとみんなが思った。自分で出せるものは出し切り、帰り道途中で睡魔に襲われ 8 号線沿いで翌日昼前まで寝ていた。

○全日本ベンチプレス美濃加茂の舞台裏？ 緞帳編

元々春先から岐阜県協会の依頼で自分が率いる SOUND GALLERY サクラ隊が P.A. を担当することが決まっていたが、神無月に入って暫くした頃に J.P.A. 広報委員会からの御意見で撤退することになった。

出場選手数名とセコンドの約束をしてたんで、引き下がって京都に居るのも申し訳ないんで、原付でツーリングを兼ねて美濃加茂まで向かった。

3 年ぶりに会場に入って度肝を抜かされた。

バックボード代わりに使われた緞帳に魂を奪われた。関ヶ原の合戦の屏風のものを引用されてるんですが、肉眼で見るものと、デジタル写真で見るのとは違うことに気付いた人は居ると思う。

赤文字が 3D みたいに浮いて見えるんですが、浮き方が全く違う理由が解らなかった。この写真を撮って FACEBOOK に挙げた直後に隣席の吉田編集長に写真を御覧頂いた。写真の方が浮き上がりがハゲしい。

地元の看板屋さんの作成らしい。どうやって作られたのかは謎のままであるが、過去に見たものでは最高のものであった。

○POWER LINE の新型ベンチ台

試技用の台が新品であることを知り合い選手に事前に流しておいたが、どこが改良されてるのか問い合わせを頂いてたがスペックについては不明で回答が出来なかった。

改良部分のアップ； 今回のモデルからは、バーベルの転がり転落の防止であった。星野会長が居られたんで伺ったところ、或る大会で 280 キロがオーバーランしてバーベルが落ちたらしく、その防止として新しいパーツが加わった。

実は大会当日に納品されたん



緞帳の字が浮き上がる。



で、星野会長以外にこの事実を知ってる人は居なかった。世界で最強、最高の品質を誇る POWER LINE ならではの構造に敬意を表したい。

○美濃加茂市がバックアップ

3年前のぎふ清流国体の時もそうであったが、開催地即ち美濃加茂市が市のアピール及び競技のアピールを大々的に行って下さった。

入り口の看板もそうだが、入り口を入ったら市の特産物の即売会も実施、最寄りの美濃太田駅前の大きなホテルには数メートルの団幕が掲げられていたり、駅前のそこらじゅうに児玉大紀さんと福島勇輝さんが一緒に写ってるポスターが貼ってあった。

会場内はドリンクサービスやダーツもあり、子供さんがダーツの景品を貰って楽しそうに帰っていくのを見ると、気分も和んできた。

○第1セッションの選手に考慮して

ウォーミングアップを途中で止めて開会式に出ることは常であるが、開会式が押してアップの時間が少なくなることを懸念して、第1セッションの選手に限りアップは止めずに行うことを許可されたそうです。

○生まれ故郷をこよなく愛し、選手とスタッフの二足の草蛙を履く九野理事長の思い

大会プログラムを御覧の方で気付いて居られるでしょうか？協賛は個人又は競技関係者のみの掲載になってます。集まらなかったのではなく、地元の経済効果を上げたいと考えられたことにより集めなかったと思われる。

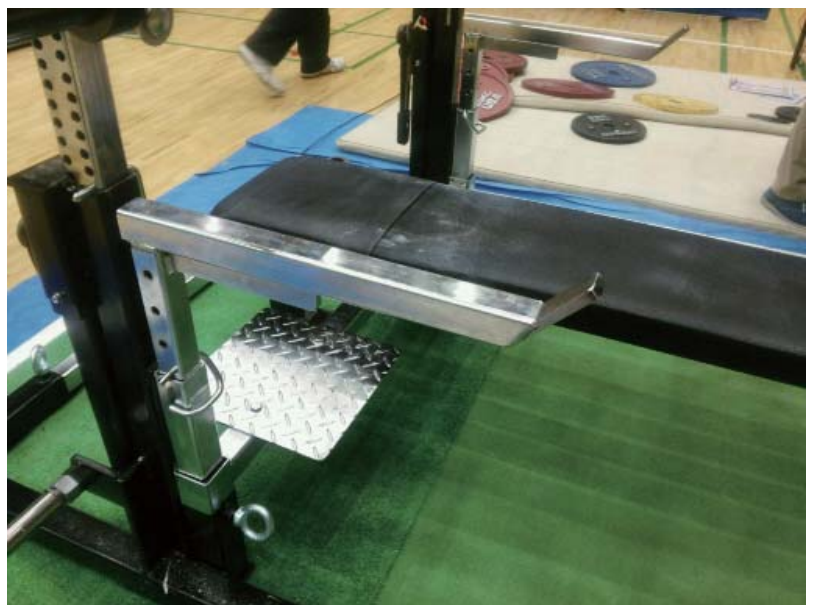
大会前に会場近辺の宿泊先が全て発表され、選手各自で予約をするものであったが、ビジネスホテル以外でも全ての宿泊先に選手が泊まれる様に案内をされてた訳だ。だから敢えて地元の企業や個人商店からは協賛の募集をかけなかったと推察する。

九野理事長はピーススポーツクラブを営んでおられる関係で、地元以外でも多数の企業などとの交流があるから、美濃加茂市が全面的にPRしてくれるん ならという思いが大きかったことだろう。

試技については、殆ど見てなく場内を色々見て回って楽しんでたら、以上の点が見えて来た。機材を持たずに気楽に会場入りをしたが、補助員への労いのアナウンスが何度もあったことは非常に嬉しい限りである。

東海ブロックのスタッフの皆さん、補助員に従事された皆さん本当に、本当にお疲れ様でした。

来月につづく



power SCRAMBLE



スポーツ庁長官の合図で、一斉にスタート

大分

車いすマラソン

報告：編集部、

吉田寿子

11月8日、大分県大分市で車いすマラソンが開催された。この大会は、車いす単独の国際マラソンでは、歴史のある大会だそう。

大会は、来年のリオパラリンピックの選考対象大会となるとのことで、日本トップ選手や、国際トップ選手が集まった。スターターは、スポーツ庁長官の鈴木大地さん。パワーリフティングも長官級の方にお越し頂きました。

沖縄新聞

報告：沖縄県

盛龍也

和歌山国体で活躍した沖縄選手が、新聞で大きく報道されました。沖縄のパワーリフティング協会は、報道に力を入れておられ、タクシーに乗っても、パワーリフティングの話をする、と良く通じます。素晴らしいです。

宮城 男子59キロ級V パワーリフティング

和歌山国体の結果を報告するパワーリフティングの県選手団
＝28日、琉球新報社

優勝した。同93キロ級の池田翔一はトータル660キロで準優勝し、団体で沖縄が2位に入った。

県選手団が28日、琉球新聞を訪れ、結果を報告した。宮城は「ベストの結果が出せた。みんながまとまって団体で上位に入れて良かった」と喜んだ。池田は「自己ベストが出せなかったが順位には満足している」と話した。

パワーリフティングは初めて開催された。

▽男子59キロ級 ①宮城善太郎540キロ（スワット195キロ、ベンチプレス122.5キロ、デッドリフト222.5キロ）
▽同66キロ級 ④会田隆幸325キロ（45.175、240）
▽同74キロ級 ⑨清名真145キロ（105、105、225）
▽同83キロ級 ⑦宮下聡記102キロ（105、105、240）
▽同93キロ級 ②池田翔一660キロ（240、100、260）
▽女子 ⑤堀利恵319.74キロ（トータル330キロ、115.95、120）
▽団体順位 ②沖縄35点

準優勝 向上心に磨き パワーリフティング県選手団

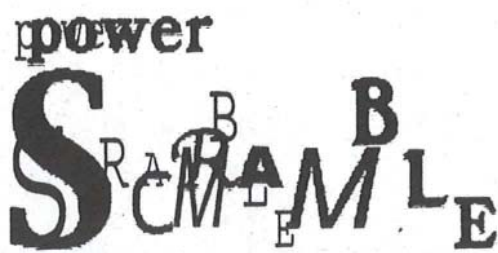
和歌山国体のパワーリフティングで団体準優勝した県選手団に沖縄タイムス社

紀の国わかやま国体で初西日、和歌山県の広川町民会にて公開競技となったパワーリフティングは20、21の2日で行われ、沖縄が団体で準優勝した。28日、選

手団が沖縄タイムス社を訪れ、報告した。

成年男子59キロ級の宮城善太郎はスワット日本新記録となる195キロを挙げ、ベンチプレス、デッドリフトを合わせたトータル540キロで優勝した。ベストはもとより。次はトータルで日本記録を目指すと話した。

同93キロ級で準優勝した池田翔一は「初めての全国大会の雰囲気は独特だったが、周囲のサポートで乗り切れた。実力以上の順位」と喜んだ。女子の堀屋理恵もベンチプレスで84キロ級の股とM1（40、49歳）クラスの日本新記録となる95キロを成功させた。



■ 元気な 東名アスレチック！

報告：平野豊美

11月8日愛知県パワーリフティング大会が開催されました。伊藤理事長のご挨拶に昭和49年に愛知県大会が設立されたという言葉があり、設立者は東名アスレチックの鈴木正之先生であったとのことでした。

今回鈴木先生の名城大時代の教え子と東名ジム会員が大勢出場しました。一番激戦区のN部門一般83kg級では、一位 日高豪志選手（ゴールドジム名古屋金山）、2位 藤枝幸司（愛知県警察）、3位 日比野智之（東名A C）4位 三輪景吾選手（東名A C）、7位 山口勝司選手（東名A C）。高校生、大学生時代からと、鈴木先生の指導を受けてきて、1, 2, 3位と3人が表彰台上がりました。すごい！快挙です。



他に東名A Cから、N部門一般74kg級、堀部政揮選手4位 N部門 M74kg級、山下卓也選手3位、F部門女子M57kg級、平野豊美1位。

鈴木先生のご指導は、選手の長所を引出し、苦手を克服させて、飴とムチを使い分け、それは上手に育てられます。

岡崎の大会会場に、ジムの方達が弁当や差し入れ持参で大勢駆けつけて応援してくださいました。みんなで、心が一つになった気持ちです。

表彰式が終わり、鈴木先生を囲んで集合写真を撮りました。打ち上げは先生の教え子でPLで活躍した荻山はるかさんの実家、焼肉「七輪」。焼肉だけに参加して下さった方達もあり、総勢20名と大盛り上がりでした。

鈴木先生には、お元気で活躍いただいて、選手を育て続けて頂きたいと願っています。



東名アスレチックのメンバー大活躍の愛知県大会